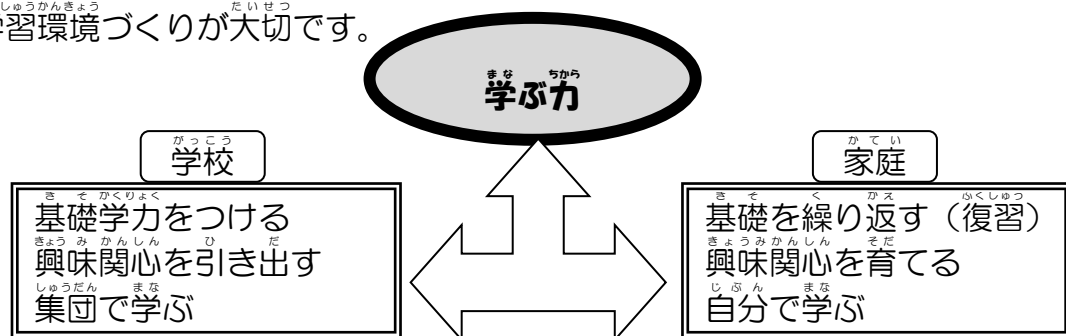




いえ学のススめ（５・６年生）

子どものよりよい成長のために ～家庭での学習環境づくり～

子どもの「学ぶ力」を育てるには、学校と家庭の連携が必要です。学校で学習したことをその日のうちに復習すると、学習した内容の８割は定着するのに対し、復習をしなければ、定着は２割まで落ちてしまいます。子どもたちが学んだことを生かしていくために、家庭での学習環境づくりが大切です。



学ぶ力とは？

- 様々なことに興味をもち、自ら学習に取り組む。
- 毎日決まった時刻に集中して学習し、理解・習得する。
- 学習したことを活用する。

「学ぶ力」には、上記以外にも、創造力・一般化する力・丁寧に取り組む力など、多くの力があります。学校・家庭それぞれで、子どもたちに正しい学習習慣をつけることが、これらの「学ぶ力」を養い、学習に大きな影響を与えます。本校では、家庭学習ノート「まなびノート」を用いて、この「学びの習慣」と「創造力」を身につけていきます。

今はこんなとき

心身ともに成長して思春期に入り始めます。自分でできるから長い目で見てほしいという気持ちが強くなります。友達との違い、自分の得意・不得意なども気になりだし、不安を人に話せないこともあります。そこで自分の良さに気づかせ自信をもたせることが大切です。家庭の仕事を任せ、自主性・自己有用性をもたせたいときです。子どもとの何気ない会話を心がけ、見守ってあげてください。

いえ学カードより

- 宿題や自主学習の習慣が身につけてきているので、次は自主学習の内容を見直したい。
- いえ学週間の間、時間を気にしながら生活する子どもが多い。
- 家庭学習の効果を認識して自ら学習に取り組む子どもが多い。

5・6年生

◎学習環境づくり

①時刻と時間を決める

時刻

- ・〇時～〇時にする。
- ・夕食までにする。
- ・帰ったらすぐにする。 など

時間

- ・学習時間のめやすは、90分程度。

②学習の流れを決める

《例》

- (1) まず宿題をする。
- (2) 次に復習をする。
- (3) そして、読書や予習をする。

③集中できる環境をつくる

- ・テレビや音楽を消す。
- ・まんがやおもちゃを片づける。
- ・削った鉛筆、消しゴム、定規など、学習用具をそろえておく。

④準備をする

- ・学習の時間・場所を決めておく。
- ・机上进行整頓し、筆記用具をそろえる。
- ・無理のない学習計画を立てる。
- ・辞書などを置いておく。

☆ポイント

- ・自分で学習内容を決め、計画的にする。
- ・ながら学習をせず、集中してする。
- ・自分に合った方法を見つける。

⑤終わったら

- ・正しいか間違いがないか見直す。次の日の準備をする。

◎いえ学の内容

国語

- ・教科書に関連するもの、興味をもったジャンルのものなどを読む。
- ・習った漢字を教科書やドリルなどを使って、くり返し練習し覚える。
- ・語句の意味を辞書で調べる。
- ・出来事や思ったことを日記や作文に書く。

算数

- ・基礎基本の計算や文章題をくり返し練習する。
- ・苦手なところをチェックし、克服しておく。
- ・公式や図形の性質、用語を覚える。

その他

- ・ニュースや新聞を見てまとめたり、感想を書いたりする。
- ・世界や日本社会、歴史などにも目を向けて読書したり調べたりする。

☆寝る時間を早める、起こされなくても起きる、自分の部屋の整理、テレビやゲームの時間を決めるなど、生活を自分自身で整えよう。